

平成22年度「学力向上フロンティア校」取組の概要

※ ()は、過去採択年度

学校名	鴨沂高校 (21)	朱雀高校 (19,20,21)	鳥羽高校 (新規)	嵯峨野高校 (18,19,20,21)
テーマ	自律・協同・『双方向』での学習～鴨沂・学びアクションプランⅢ	“学力”と“意欲”を引き出す「授業改革」への挑戦～「学び直し」から「学びの飛躍」へ～	論理的思考能力の養成～思考力を高めるプロジェクトTOBA	Sagano Dynamics 第Ⅱ期プログラム(ステージ1)
目標	<ul style="list-style-type: none"> 府立高校実力テストなどでの成績の維持向上 授業規律確立週間の設定と全教員の授業力向上を目指した授業研究への取組 各教科、「総合的な学習の時間」の7割の講座で課題探求型学習やNIE学習に取組む 学習成果の発表の場の設定(文化祭、掲示板設営、校外研修報告集会、大谷大学見学会での発表等) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力、学習、生活、意識の実態や変化の把握と課題、方策を明らかにする 小中学校の学びの確認と“頑き”の克服指導 「認知の特性に応じた指導の工夫が“わかる授業”づくりに深く繋がる」という「モデル事業」の成果の発展 自ら学び、考え、問題解決に主体的に取り組む探求型学習指導の研究と教材の開発と活用 メディアリテラシーを磨くための学習教材の研究開発と活用 ジョブシャドウイングの実施と成果の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 数学検定4年連続学校表彰受賞 模擬テスト受験率前年比10%アップ 各種論文コンクール応募50点以上 府立高校実力テスト偏差値3ポイント以上アップ 図書館貸出冊数前年比5%増 家庭学習時間1時間プラス 授業満足度アップ 	<ul style="list-style-type: none"> 1年次に論理的思考力の基礎を確立 自学自習を習慣化し、自己教育力を高める 多角的学問連携を実施し、連携大学への進学意識の高揚を目指す 第1志望を明確化し、合格達成率を高め、進路決定率を100%に近づける 本校教育内容の理解・明確な目的意識のある生徒の出願促進
目標達成に向けた取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力充実・家庭学習時間増加・授業改善の取組み(「授業規律」確立週間の設定、生徒の学習実態把握と授業改善、土曜学習の充実) NIE学習・課題探求型学習の充実・高大連携の取組み(討論、発表、グループ学習充実、周辺環境を生かした学習プログラム、NIEワークシートの作成とNIE実践集発行、高大連携講座) 「言葉の力」「コミュニケーション力」の育成と研究成果の発表(成果発表、研究成果レポート集の企画・作成・発行、新聞への投書・コンクールへの応募) 大学進学希望者全員の進路実現、四大進学者増加をめざす取組み(進学補習、校内模試等) 	<ul style="list-style-type: none"> 『脳と学力を鍛える基礎ノート』の改訂、新たな版のノートを使った授業の取組 「わかる授業」「探求型協同型授業」を目標とした授業研究、先進校視察、各教科での授業の共同開発と実践、「人の発達」や認知に関わる研修 メディア現場からの外部講師招へいとメディアリテラシーの学習 「学習と生活とからだについてのアンケート調査」、学力診断テスト、ジョブシャドウイングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学力・学習状況調査の実施(「鳥羽高の強さ」の秘密の検証と一層の強化) 思考力コンテストの実施(コンテストの実施と「プロジェクトTOBA通信」(コンテスト向け問題等掲載)を発行し、「考える」習慣づくりを図る) 思考力を高める授業の創造(「思考力を高める授業」の研究、授業評価の実施・分析、授業研究会・成果発表会) 校外での学術コンクール・検定、論文コンテストの積極的な広報と全校体制での取組 1年間の取組の成果を公表 	<ul style="list-style-type: none"> 言語プログラム(論理表現、レシテーションコンテスト、TOEIC、ポキャブラリー・ビルディング) 協働プログラム(GLプロジェクト、アカデミック・レクチャー、サイエンス・レクチャー、アッサンブリー、チューターシステム) 自動プログラム(チャレンジセミナーⅠ・Ⅱ、チャレンジタイム、ステップアップ・セミナー、ゴール・プログラミング、アチーブメント・セミナー) 実践プログラム(アカデミック・ラボ、サイエンス・ラボ、専門科目プレゼンテーション、検定取得)

学校名	桂高校 (新規)	城陽高校 (新規)	京都八幡高校 (18,19,21)	久御山高校 (新規)
テーマ	「桂 学びプラン」～中高の接続を意識した学習と家庭学習習慣の確立による基礎学力の養成～	「一人一人の学習意欲を高め、基礎基本の徹底と学力向上を図る」～必ず伸ばす「城陽メソッド」の開発～	KYOTO YAWATA PROJECT8 守“破”離～言語活用型学力伸長プラン～	「確かな学力と豊かな教養」を求めてガンダムプラン第1章
目標	<ul style="list-style-type: none"> 各教科(国数英)が重点的に取り組んだ学習状況調査項目10%以上向上 考査前の計画的な学習実施及び家庭学習時間の増加10%以上向上 府立高校実力テストの偏差値5ポイント向上 	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期の成績不振者数をひと桁に減らし、原級留置・退学者数をゼロにする。 府立高校実力テストの偏差値30未満をゼロにし、60以上の人数を2割増にする。 国公立大学合格者数ゼロから脱却し、ふた桁にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種検定・資格合格者20%増(前年度比) 図書館貸出冊数4000冊(年間) 言語活動と関連ある全国レベルコンクール入賞 各コースによる高大連携講義実施1回以上(年間) ディセンシー(礼儀正しさ)チェックシート月1回実施、平均値4以上(5段階評価) 市民開放講座の実施1回(学期毎) 特別支援学校との交流活動1回(学期毎) 国公立大学合格者50%増加(前年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率90%(現在73.2%)と全国大会出場部倍増(21年度2部(剣道女子・サッカー)) 中堅私大合格者100人(3年計画)(平成20年度50人)
目標達成に向けた取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> 中高の接続を意識した学習指導と家庭学習習慣の確立(地元中学との授業交流、中学校振り返り学習、学習強化週間の設定等) 英語力強化(TOEIC Bridge受験、TOEIC Bridge教材、英検活用による英語力向上) 部活動参加生徒への指導(顧問からの指導、部活動ごとの学習会) 将来展望を持たせる指導(キャリアプランがダンス、龍谷大との連携、台湾農業高校との研究交流) 教員の指導力向上(地元中学校との公開研究授業、教員向け小論文指導講座等) 	<ul style="list-style-type: none"> 城陽メソッドⅠ「やる気アップ」入学前学力診断テスト実施し、基準点以下の生徒を対象に「基礎固め授業」(英数)を、成績不振者対象に「集中補充」(5教科・長期休業期間中)を実施 城陽メソッドⅡ「進学アップ」「土曜教室」設置、「家庭学習ノート」の製作と活用による家庭学習時間の増加 城陽メソッドⅢ「キャリアアップ」勤労体験活動、キャリア教育講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各種検定・資格対策(検定本等を活用し、語彙力の向上と学習習慣・基礎学力形成の土台づくり) 図書館のメディアセンター化(図書館にプロジェクト8事務局を設置し、活動の拠点とする) 高大連携講義(専門性の高い講義の実施) ディセンシー指導(基本的生活習慣の定着、チェックシートを活用し自律した自己形成) 開かれた学校づくり(特別支援学校との交流、市民開放講座) 小論文指導(教科横断的にAO・推薦入試対象生徒への指導強化) 	<ul style="list-style-type: none"> 「生活スタイルにあった学習の仕組みづくり」と「学習への新たな意識づくり」の2つの視点で構成 独自の学力診断テスト実施・分析・クラス編成 新入生実態アンケート調査・分析 学び直しの自主教材作成 土曜講座の実施 Kumiyama Book Wave(朝の10分間読書) 久御山中学校への教員の出前授業の実施 研修旅行(中国・沖縄)と事前・事後学習の充実

平成22年度「学力向上フロンティア校」取組の概要

※ ()は、過去採択年度

学校名	南陽高校 (新規)	農芸高校 (20,21)	福知山高校 (20,21)	大江高校 (21)
テーマ	南陽サイエンス・アクション！ ～科学の輪を学校・地域に広げる活動～	サイエンスE.P.(science education program) ～科学する喜びを実感する 農業教育を目指して～	みらいへトライ！ 福高スクラム	OE-Study ー第2章ー ～ユビキタスな学習環境 & スモールステップアッププラン～
目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全校生徒の科学に対する興味・関心を深める。 ■ 活動を通して、学ぶことの意義や有用性に気づき、ことばで科学を捉える力を身につける。 ■ 地域の環境や身近な科学的事象に対する生徒の興味・関心を深める。 ■ 目標達成に向けて連携事業等を10回程度実施し、1、2年普通科生徒のうち、理系選択生徒が事業に関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ basic program: 理数の課題提出 100%、1年終了時の高校入学試験 理科、数学の学年平均点20/40(50%)以上、農芸理学士取得50名、修士取得20名、博士取得10名 ■ advanced program: 国公立大学合格者5名、農業クラブ全国大会・ブリッジコンテスト・技能五輪等専門学科に関する研究成果発表入賞8件 ■ master program: 教職員対象アンケートの満足度80%以上、スクールマネジメントプランにおける達成度80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ S-program: 府立高校実力テストで学内平均偏差値と府内平均偏差値との差0.5ポイント上昇。外部模試での学年平均偏差値0.5ポイント上昇。数学コンテストにおける受賞者5名。模試ノート活用による指導の徹底。学力向上70%以上 ■ J-program: 懸賞論文5本入賞、新聞投稿5本採用、小論文演習点5点上昇、読書活動推進企画数28回、新聞活用セミナー満足度90%以上、学習意欲の向上70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 週末課題提出率 95% ■ 授業時間以外の平均学習時間平日1時間以上、休日2時間以上 ■ 検定合格率のアップ 70～95% ■ 府立高校実力テスト成績アップ 第1回、第2回比 成績伸び率1.2倍 ■ 自習室稼働率 平日放課後90%以上 ■ WBTシステム活用率 平日90%以上、休日95%以上
目標達成に向けた取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ アクションⅠ 拡大版サイエンスプログラム 普通科生徒にサイエンスリサーチ科事業を紹介し、参加募集する。 ○ アクションⅡ サイエンスサークル 「子ども未来サイエンス・サークル」事業を実施し、地域の小学生に指導的立場から接する。 ○ アクションⅢ サイエンスリサーチ 地域社会を科学的に調査し、結果を公開する。 ○ アクションⅣ サイエンスジャーナル 各事業の総括と結果の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ○ basic program: 1年生全員対象:課題提出、シートテスト、2・3年生対象:高大連携講座(夏期・土曜講座)、ミュージアムツアーでのグループ学習・レポート提出 ○ advanced program: 高大連携講座の研究者との交流、研究計画発表会、優良・意欲的な取組への研究費補助、成果発表会、農業教科・普通教科あわせた課題提出型学習、core studentの育成 ○ master program: 教職員対象の校内研修会、リーダー生徒との共同技術研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ S-program: 模試ノートの活用、数学コンテストへの取組、日々の演習、週末課題 ○ J-program: 小論文トライアル、福高作文、新聞活用セミナー、小論文演習、懸賞論文、読書活動推進企画(読書旬間、古本市等) ○ みらいプロジェクト: 外部(大学・関係事業所)との連携、他校種訪問、宿泊研修(大学・施設等)、インターンシップ(地元企業・病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級の現状分析(Q-Uアンケート) ○ HR・総合学習時間との連携: 学力向上と意欲的な態度の育成。WBTシステムの活用方法の指導。 ○ 「高大連携等の講演会」の実施 ○ ポータルサイト構築: 週末課題、進路情報等配置 ○ VOD構築: ビデオサーバーに学習方法、進路情報にかかわるデータベースを構築し教室等で閲覧

学校名	宮津高校 (18,19,20,21)	峰山高校 (20)	網野高校 (19,20,21)
テーマ	究 ～自らを磨き夢を実現～	「峰高 Link to the future」 ～繋がりを力に～	集団のパワーで学力アップ!! Team網高～「学びの共同体」 クロスオーバー“X”編～
目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 進路目標達成 国公立大学合格70名以上 ■ 家庭学習時間 2時間以上 ■ ボランティア活動充実 参加延べ1,000人以上 ■ 天橋立世界遺産登録運動の推進 推進運動看板2か所設置、天橋立英文パンフを英語圏50カ国以上30,000部配付 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全校生徒の80%以上を「アカデミックミネ」(校内・校外コンテスト、科学体験教室、資格取得等)のいずれかへ挑戦させる。 ■ 家庭学習時間1時間未満の生徒割合を20%以下に減少させる。 ■ 府立高校実力テスト(1年普通科Ⅰ類)の平均偏差値を府Ⅰ類の平均推移より2ポイントアップさせる。(4月～1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平均家庭学習時間前年より10分以上アップ ■ 家庭学習時間30分未満の生徒の割合20%以下 ■ 府立高校実力テスト平均偏差値全教科で3点以上アップ ■ センター試験全科目で本校平均点と全国平均との差を昨年よりアップ ■ 図書館一人年間平均貸出冊数7冊以上 ■ 保護者の年間来校回数平均5回以上
目標達成に向けた取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒力アップ <ul style="list-style-type: none"> ・学力を究める(言語力向上プログラム、コンペ・コンテスト等への積極参加) ・人間力を究める(「天橋立」「世界遺産」をテーマにした学習・活動の充実等) ・主体性を究める(天橋立未来塾開設、体験活動・ボランティア活動、地域貢献) ○ 教師力アップ <ul style="list-style-type: none"> ・授業力を究める(授業研究、セミナーへの参加) ・人間力を究める(地域の小中学校での指導等) ・組織力を究める(若手教員の育成等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Link1】新しい自分との繋がりを: 論文コンテスト、科学体験教室、各種検定試験、校外コンテスト ○ 【Link2】学習の繋がりを: 週末課題、「峰高100題」(大学受験基礎レベル)の作成と生徒への提示、修学旅行の取り組みを通じた仲間づくり、学習時間調査・分析・対策検討、研究授業 ○ 【Link3】卒業生・大学生との繋がりを: 大学・企業訪問時卒業生生活用、高大連携事業 ○ 【Link4】地域・PTAとの繋がりを: 京丹後市地域活性化策への参加、地元製造業から講師招へい、就職模擬面接・職場体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Teamホームルーム: HRの学習環境・学習への取組意欲向上(クラス対抗読書量アップ、漢字書き取りアップ、網高レディネス) ○ Teamクラブ: 部活動での学習取組意識アップ(クラブ学習会) ○ Team教職員: 授業スキルアップ(「指導力向上講座」等研修参加、他校実績視察) ○ Team保護者: 学校と保護者、保護者同士連携強化(保護者来校スタンプラリー、お知らせメール) ○ Team同窓会: 卒業生ネットワークによる学校支援(卒業生ネットワークの設置)

平成22年度学力向上フロンティア校について



- 1 事業の概要
学力向上の観点から各校が決定したテーマや到達目標に沿って、生徒に「質の高い学力」を身に付けさせる取組を支援。
- 2 平成22年度学力向上フロンティア校決定までの経過
 - ① 企画の公募
府立高校46校(22年度)のうち、36校から応募。
 - ② 企画コンペの実施(2月17・19日)
36校のうち、書類審査を経た23校が企画コンペに参加し、パワーポイントなどを用いて企画を発表。
 - ③ 学力向上フロンティア校の決定(15校)